

## 土井 洋平

日本内科学会認定内科医、日本感染症学会感染症専門医、米国内科専門医、米国感染症内科専門医。

1998年に名古屋大学卒業後、安城更生病院で初期研修医、国立感染症研究所で研究員を経て2003年より米国ニューヨーク州・セントルークスルーズベルト病院で内科研修、2005年よりペンシルバニア州・ピッツバーグ大学医療センターで感染症内科研修。2008年からはピッツバーグ大学医療センター助教授、2016年より准教授として感染症診療・教育に携わる傍ら、薬剤耐性菌の基礎・臨床研究を推進。2018年より現職。

### 【現職】

藤田医科大学 医学部微生物学講座・感染症科 教授  
(併任) ピッツバーグ大学医療センター 感染症科准教授

### 【専門】

感染症内科、薬剤耐性菌研究

### 【略歴】

1998年 名古屋大学医学部卒業  
安城更生病院、国立感染症研究所を経て  
2003年 セントルークスルーズベルト病院 (ニューヨーク)  
2005年 ピッツバーグ大学医療センター (ペンシルバニア) 感染症内科フェロー  
2008年 ピッツバーグ大学医療センター 感染症内科助教授  
2016年 ピッツバーグ大学医療センター 感染症内科准教授 (～現在)  
2018年～ 現職

### 【著書】

Mandell, Douglas, & Bennett's  
Principles & Practice of Infectious Diseases, 9th ed. (分担執筆) など

### 【役職】

Chair, Gram-Negative Committee, National Institutes of Health Antibacterial Resistance Leadership Group  
Member, American Society for Microbiology ASM Microbe Program Committee  
Member, Infectious Diseases Society of America IDWeek Program Committee